

石原 克美

テノール・リサイタル

レンディーネ：ヴリア（望郷）

Rendine：Vurria

フェラーフォ：あなたは知っている

Ferrafo：Tu lo sai

トスティ：暁は光から

Tosti：L'alba separa dalla luce l'ombra

チレーア：「アルルの女」より「フェデリーコの嘆き」

Cilèa：《L'Arlesiana》- Lamento di Federico

ジョルダーノ：「フェドーラ」より「愛さずにはいられぬこの思い」

Giordano：《Fedora》- Amor ti vieta

※ 曲目は変更する場合がございます。予めご了承ください。



日本における
イタリア

2011

ITALIA IN
GIAPPONE

Katsumi Ishihara Tenor Recital

大好評だった昨年に引き続き

イタリア文化会館での待望のリサイタル。

是非、魂を揺さぶる感動を体験してください。

石原 克美 KATSUMI ISHIHARA

音楽大学現役でベートーヴェン『第九』、グノーの『ミサ・ソレムニス』のソリストをつとめ大変な注目を浴びる。

日伊音楽コンソルソに入選後、1984年にイタリアのミラノに留学、グワリーニ氏、フェラーロ氏に師事、研鑽を積み、トレヴィーゾ国際コンクールで入選、同市のテアトロにモーツァルト『コシ・ファン・トゥッテ』のフェランド役で出演。

1986年に帰国後、『ラ・ボエーム』（ロドルフォ）、『カルメン』（ドン・ホセ）、『魔笛』（タミーノ）、『椿姫』（アルフレード）、『ロメオとジュリエット』（ロメオ）、また二期会40周年記念公演『こもり』（アルフレード）、『ジャンニ・スキッキ』（リヌッチョ）などで活躍、好評を博す。テレビ朝日の「題名のない音楽会」ほかテレビ出演も数多く、稀少なテノール・リリコ・レッツジェーロとして、活躍を囑望されている存在。

元イタリア大使にも絶賛され、大使館にて各国大使をはじめ各界を代表する方々の前で歌い、フィンランド、ロシア、ルクセンブルグ、スウェーデン、サウジアラビア、メキシコ、スロヴェニア、タイ、ベルギー等の大使に招かれ、各大使館にて美しい歌声を披露した。

また、皇后美智子さまのご臨席を賜った折に、アリアをご拝聴いただき、皇后さまのピアノ伴奏でうたわせていただくという栄誉も賜った。

2006年、2007年、2011年ライスポウルにて「君が代」を独唱。2007年7月に日本で開催されたワールドカップでも独唱した。

PIANO：久保 晃子 AKIKO KUBO

2011.9.24 Sat.

19:00開演（18:30開場）

イタリア文化会館
アニエツリホール

地下鉄「九段下」駅下車 徒歩10分

入場料：4,000円（税込）

全席自由

